

これなあに?

『エチコ』

今でいう「揺りかご」のようなものです。エチコ(エンチャ、エジメとも)は、わら製のものと同木製のものがあります。わら製だと、おしめをはずすようになるとおしっこが通ってしまいますから、木製の方が重宝がられました。底にやや丸みを持たせ、手を触れると簡単に揺らせるようになっています。中にシビ(やわらかなわら)を敷き、周囲には細長い布団を回して、子供が外へ出ないようにしっかりくるみました。シビで足がすれることはなく、暖かかったといえます。

子供の寝かせ方が悪いと頭の形がいびつになったりしますが、エチコに入った子供の後頭部は丸みを持つことが多かったそうです。

夢中 熱中 青春ライフ! クローズアップ

41

大館児童文学同好会

「昔、むかし・・・」と聞くと、だれでも幼いころの思い出と一緒に、いくつかの物語が記憶の中によみがえると思います。今回ご紹介するのは、児童文学同好会。作品の鑑賞から創作活動まで、精力的な活動を続けています。

民話や童話、童謡など、広い意味で、子供たちにかかわるものに関心を持っている人が集まった会で、平成二年三月に発足しました。「子供や孫たちに語り、伝えられるような作品を自分たちで作ろうじゃないか」と考えています。会員は十人。毎月一回例会を開いて、絵本、創作童話・小説、郷土の民話・伝説、子供たちが作った短歌や俳句など、広く児童文学を取り上げ、鑑賞、研究をおし、最終的には創作することを目指しています。四年の夏には初の作品集「ポプラ」を発行できました。まっすぐに空へ向かって生長するポプラのように、子供たちもすくすく育ってほしいという願いを込めて名付けたものです。

また会では、新たな刺激を求めて岩手の宮沢賢治記念館、青森の近代文学館など、文学的な先進地

の視察も行っています。今回の例会は九月二十五日に、サン・アピリティーズ大館で午前十時から開きます。宮城県民話の発表などを予定していますので気軽に会場ください。また、会に関心のある人は事務局・吉成☎5212635までご連絡ください。新入会員を歓迎します。



視察先の青森県近代文学館前で

大館の方言講座

動物に関する言葉

- ◆アオシシーカモシカ
- ◆アオヌルシー青大将
- ◆アガハラー腹の赤いイモリ
- ◆カシベーアカエイ (海魚)
- ◆カラヘビートカゲ
- ◆ギャダカー毛虫
- ◆ギャロ・モッケーカエル
- ◆ダンブリートンボ
- ※オニ〜オニヤンマ
- カネコ〜アキアカネ
- ◆チャッコー猫
- ◆テランコーチョウチョ
- ◆ハタギーイナゴ
- ◆ベゴー牛
- ◆マシー猿

『大館市史』より

- ☐ 親子読みかせ会 毎月第1金曜日 14時30分
- ☐ 中央図書館の休館日 9月18日、22日、23日、10月10日

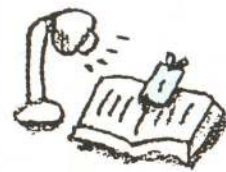
9月のテーマ関連図書コーナー 「防災」

児童書

◆につぼん地図絵本(とだこうしろう) ◆なん者ひなた丸千鳥がすみの術の巻(斉藤洋) ◆ズッコケ三人組のミステリーツアー(那須正幹) ◆ブルーノはおかんむり(カーチャ・メンズイング) ◆くまさんにであった(森山京) ◆巨大密林をつき進む(クストー) ほか

一般書

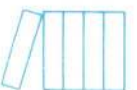
◆平成政治家斬り捨て御免(谷沢永二) ◆あいまいな色が好き(長沢節) ◆風のように忘れてばかり(渡辺淳二) ◆でも女(群ようこ) ◆四十七人目の浪士(池宮彰一郎) ◆おどるでく(室井光弘) ◆ホテル・パステイヌ(上・下) (ピーター・メイル) ◆ナルシスの誘惑(ダイアナ・ハモンド) ほか



『父逍遙の背中』

飯塚 くに 著

中央公論社



私の本棚

中央図書館新着図書

